



虹の原特別支援学校 高等部棟増築工事だより

令和6年5月号

発行担当者：宅島・野副JV 松尾

5月も半ばも過ぎ、少しずつ暑さを感じる日が増えてきました。
日頃より地域の皆様方には、ご理解とご協力を頂きありがとうございます。
先日、体育祭の予行練習があっており、元気な子供たちの声に活力をもらいました。
過ごしやすい時季ではありますが、朝晩はまだ冷えますので、どうぞご自愛ください。



【工事の進捗状況】

躯体（コンクリート）工事が完了し、今月からは内装工事に取り始めました。

1階の進捗状況



2階の進捗状況



屋上の進捗状況



内装工事とは

建物内の設備・装飾の工事を行うことを指します。
現在は、窓を取り付け、天井と向仕切り壁の下地を組んでいるところです。
外から見ても変わりがないように見えますが、内装工事が始まると「コンクリートの
かたまり」から「校舎」という建物に変わっていきます。出来上がりが楽しみです。



*知っているても為にならない情報かもしれませんが、 知っているると自慢できる！？情報

今月から木材を使った工事が始まりました。
今回の工事では、主に「杉材」、一部「桧材」を使用しますので、この2つの違いをご紹介します。
杉も桧も同じ針葉樹(葉が針のように細長い木)で、木造住宅によく使われ、日本にある森林の約3割を占めるほどです。見た目はどちらもよく似ており、区別がつきにくいという方もいらっしゃると思います。
どちらも昔から多くの住宅で使用されており、日本を代表するこの2種類の木を見分けることが出来れば、いつかどこかで自慢できる時がくるかもしれません。

『桧の特徴』

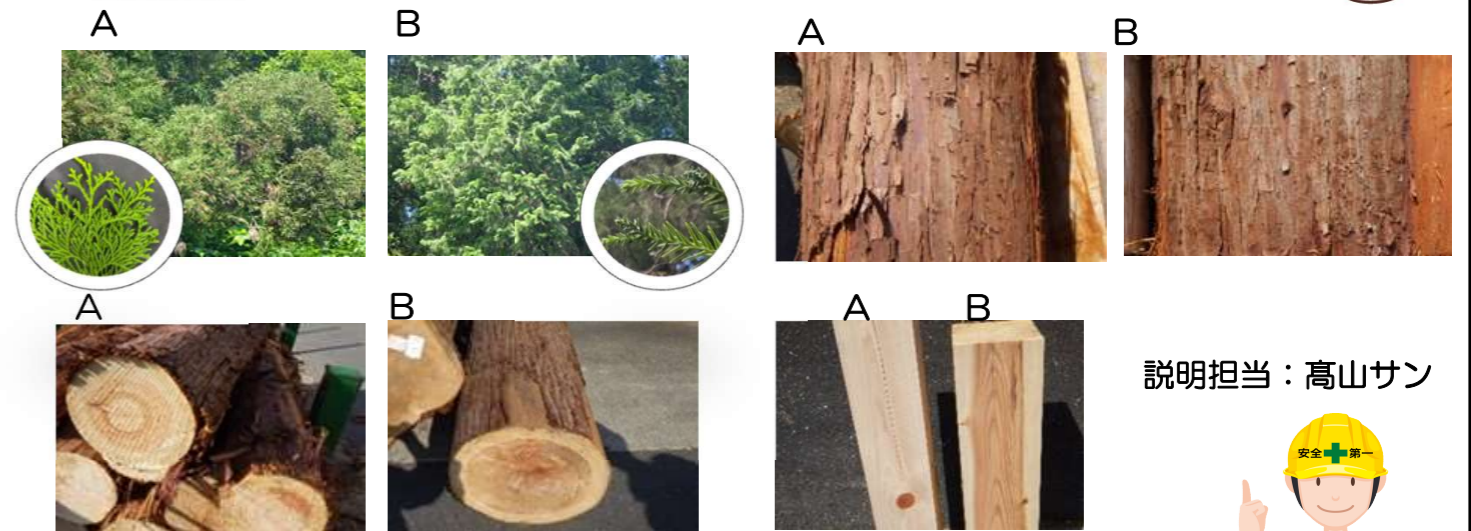
樹皮は1枚1枚が大きくて荒い。
葉は丸くて枝分かれしている。
木目は薄いが、節にも年輪がある。
全体的に色は均一で、赤みを帯びている。

『杉の特性』

樹皮は1枚1枚が細かい。
葉先が尖っている。
木目がくっきりしており、節の色は濃い。
色は木の中心に向かって赤みが強くなる。



それではここでクイズです！
AとB、それぞれ杉と桧はどっちでしょうか！？
それぞれの特徴を読んで考えてみてくださいね。



説明担当：高山サン



「節」は、枝があった跡です。

次回6月号も、内・外装工事に関わる部分をご紹介します。
完成まで無事故で終わるよう頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

※工事に関するお問い合わせは、下記までご連絡下さい。

虹の原特別支援学校高等部棟増築工事 作業所
現場事務所住所 大村市宮小路3丁目(虹の原特別支援学校グラウンド内)
宅島建設株式会社 0957-75-0222
施工者：宅島・野副特定建設工事共同企業体 現場代理人：松尾



Aが「桧」Bが「杉」でした。全問正解できましたか？